



『読者の声お返事コーナー』

このコーナーは、本市広報誌である「広報ひおき」内の読者の声に協力していただいた方へのお返事ページです。広報誌に掲載させていただいたお便りから、残念ながら誌面のスペース上の関係で掲載することができなかつたお便りまで。協力していただいた感謝の気持ちを込めて、隣でキャラクターがお返事書かせていただいております。今後とも本市広報誌「広報ひおき」をよろしくお願ひします!!



8月号のお題

～先月のお題は『今年の夏の思い出話』でした～

7月初めにやって来た、台風8号に2回遭遇しました。1回目は旅行先の沖縄で、人も飛ばされそうな勢いの暴風雨にホテルから1歩も出られませんでした。2回目は、福岡を経由して台風を追い越し帰り着いた自宅で台風がやってきました。沖縄の風雨が凄かったので覚悟していたのですが…。思ったほど大したことも無く本当に良かったです。台風が来るたびに、今年の夏を思い出すのでしょうか。

(パパとランチに行きたいさん 伊集院町 40代女性)

私たちは終の棲家に日吉町を選びました。土地探しの時、日置小学校の挨拶の気持ち良いこと。ここならこういう土地なら先人の方もすばらしい人があるということ。

出水兵児の名で有名な山田昌胤公、司馬遼太郎の故郷忘れ難く候に出ている島津歳久公、西郷さんに影響を与えた赤山鞆負公、桂久武公の名も有ります。歴史を学べば郷土愛も高まる。埋れた偉人を見つけてください。

(歴史大好きおばちゃんさん 日吉町 60代女性)



お便りありがとうございます!同じ台風にも2回遭遇されるとは!!私もテレビを見ながら沖縄は本当に大変なことになっているなと思っていました。何がともあれご無事だったようで何よりです!!これも確かに夏の思い出の一つですね。

お便りありがとうございます!そして日吉を選んでいただき本当にありがとうございます!!歴史大好きおばちゃんさんがおっしゃいますように、本当にたくさんの偉人の方がいらっしゃいます。私もぜひ改めて調べてみたいと思います!!



早期退職後、百姓見習いとなって8回目の夏だった。毎年順調に成長していた我が家の野菜と私。でも、今年の農園の野菜姫(トマト、ナス、ピーマンなどなど)は、病害虫に侵され散々、無農薬栽培の厳しさをいやが上にも味わった。さらに台風8号の強風にあおられて幹や枝が折れ無残。私の心まで折れ深く沈んだ。

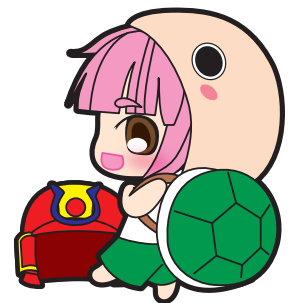
そんな中、本報8月号の“編集たいむ”で「二度とは来ない夏を楽しんで」との提案に一念発起。以後の農園の草取りに力が入った。おかげで雑草が覆い茂っていた500坪の農園は冬野菜の準備が整った。

今夏、失敗や困難にもめげず、楽しく取り組みれば前向きな心になれることを再認識した。

農園の木陰では心地よい風が吹いていた。

(生き生き百姓見習いさん 東市来町 60代男性)

お便りありがとうございます!担当のご主人の“編集たいむ”がお役に立つ日が来るとは!!拙い文をご覧いただきありがとうございます。すぐに調子に乗ってしまいますので内緒の話で(笑)。今度は二度と来ない冬をぜひ。





フリートーク

～日置市のこと、身近な話題等なんでもお聞かせください～

『ひおき』の誌面がぐーんと充実し、見ごたえのある内容で、担当の方々のご努力と熱意を感じながら、楽しく読ませていただいております♡私は子育て中の新米主婦なのですが、毎日の献立作りも地味に大変なので、忙しい主婦でもさっ!!と一品できる料理のコーナーがあるといいな、と思っています。ぜひよろしくお願い致します(^^)食べるの大好き♡

(食いしん坊万歳さん 伊集院町 30代女性)



お便りありがとうございます! 広報誌をお褒めいただきありがとうございます!! 担当のご主人の奥様もいつも献立には苦労されているようです。もうカレーにしちゃえというような(笑)。ぜひぜひ検討させていただきますね!!

皆さまいつもお便り
本当にありがとうございます!!
これからも
よろしくお願ひ致します!!



町内アナウンスについて勝手ながら意見させていただきたいと思います。

朝や夕方の音楽は良く聞こえてくるのですが、時々”大事なお知らせをアナウンスしているのでは…”と思う時に聞き取れないことがあります。風向きなどで変わってきたり、もちろんほとんどの町民の方々には聞こえているのかもしれませんが…。

先日県道24号線の土砂崩れがあったり、全国的に災害が発生しているのをテレビで見ます。町内アナウンスはもしもの時にたくさんの町民への大切な情報を届けられる重要な手段の一つだと思うので、何か聞こえやすくなる方法、対策はありますか? 単に音量を大きくするだけでは改善にならないかとも思ったりします。

(Kさん 伊集院町 30代女性)

お便りありがとうございます! 担当課におつなぎさせていただきました。屋外スピーカーは天候で強く影響を受けてしまうそうです。家庭用の個別受信機もあるようですので、ぜひご利用くださいませ!!



広報誌ひおき112号の「忘れられない夏が来た」も残りわずかとなりました。編集者の皆さまにはご健勝のことと思います。

さて、ひおき111号の表紙写真「寄り添う姉妹」には、久しぶりに感動しました。担当者が書かれているように、何かを思い出させる姿。それは郷愁であり、姉妹愛であり、確かに哀愁さえ感じさせるシャッターきりだだと思います。お母さんは、この子らをどこで見守っているのでしょうか。心温まる表紙絵です。

続く112号の表紙写真もとても意味深き心に残る1枚のシャッターきりだと感じ入っています。郷土の文化・祭りに親子3代連れ立って鑑賞している姿は、肉親の絆を感じざるを得ません。ここでも担当者の言にあるように、忘れることのできない一夏としてそれぞれの思い出となることでしょう。

この2枚の写真に共通していることは、担当者の人間愛、郷土愛に他ならないと思います。だから、作者の求める題材に共感する読者がいるということだと思えます。

この2枚の表紙絵は、今日も私の傍らにあって心を和ませてくれます。担当者に心から感謝の意を込めてお礼を申し上げます。勝手なことを述べさせてもらいましたことお詫び申し上げます。

広報誌担当者のますますのご活躍を祈念いたします。楽しみのある広報誌をお待ちしています。がんばってください。

(広報ひおき読者さん 匿名)

お便りありがとうございます! そして勿体なきお褒めの言葉の数々、本当にありがとうございます。担当のご主人が本当に喜んでいました!! これからも楽しんでいただけるような広報誌を作成できるよう頑張りたいと思います!!

